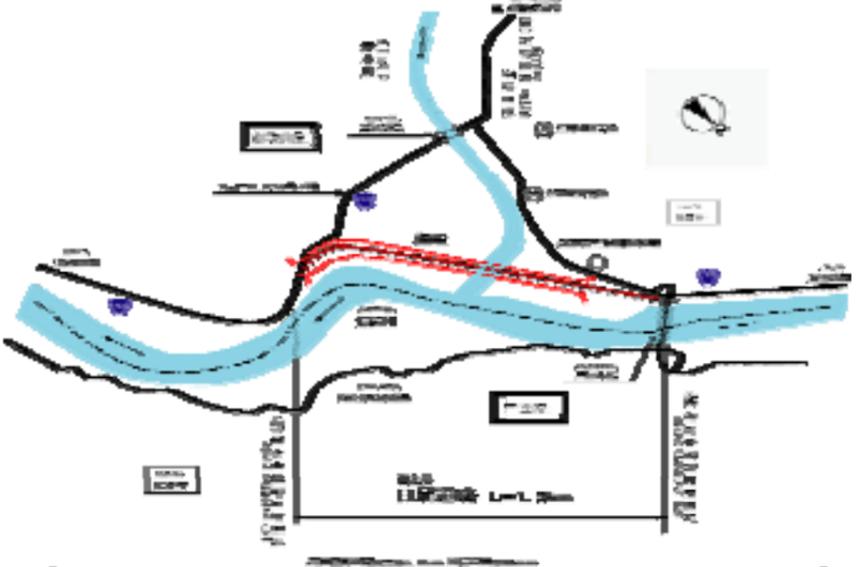


新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	五條新宮道路 日足道路（一般国道168号）	事業区分	地域高規格道路	事業主体	和歌山県
起終点	和歌山県新宮市熊野川町田長 和歌山県新宮市熊野川町日足	延長	1.5 km		
事業概要	<p>一般国道168号は地域高規格道路として、和歌山県新宮市から奈良県五條市の間約130kmを結ぶ道路であり、近畿自動車道紀勢線から京奈和自動車道を結ぶ重要な路線に位置づけられている。</p> <p>その中で、日足道路は平成17年3月25日に地域高規格道路の調査区間指定がなされている。</p>				
事業の目的、必要性	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録された「熊野三山」（本宮～新宮・那智勝浦）を繋ぐ観光ルートとして重要。 世界遺産登録後、周辺市町村の観光客急増（H16/H15：本宮1.9倍） H16入込み客：旧本宮町115万人、那智勝浦町180万人 観光アクセスの改善が急務 当該区間は2年に一回程度、冠水による通行止めが発生。（H16では二回冠水：台風11,23号） 第一次緊急輸送道路であり、現道にある老朽橋梁（S34供用：三津野橋梁）を回避できる。（w=5.0m） 				
全体事業費	約47億円	計画交通量	6,200台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域高規格道路 五條新宮道路の熊野川・本宮道路が平成17年度に供用予定であり、引き続き平成18年度より日足道路の新規事業化に入りたい。 合併支援道路：H17.10.1に新宮市と熊野川町が合併、当該道路は旧市町を結ぶ唯一の幹線道路である。 地域の救急医療を支える道路：緊急時にもアクセスが分断されずに新宮市立医療センターへ搬送可能。
----------------	---

事業採択の前提条件	費用対便益：便益が費用を上回っている。
-----------	---------------------

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用：37億円 （事業費：36億円 維持管理費：1億円）	総便益：58億円 （走行時間短縮便益：53億円 走行費用減少便益：4億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年 平成17年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.7（交通量 -10%）	B/C=2.3（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.5（事業費 10%）	B/C=2.5（事業費 +10%）	
	事業期間変動	B/C=1.6（事業期間 -10%）	B/C=2.4（事業期間 +10%）		
事業の影響	評価項目	評価	根拠		
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	事業実施により当該区間の渋滞を解消する。 【渋滞損失時間の改善】約5.8万人時/年 約2.0万人時/年 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】約2.1万人時/年km、約1.2万人時/年台km（現況） （和歌山県平均：約1.1万人時/年km（約5倍）、約6.4万人時/年台km（約5倍） 全国平均：約2.0万人時/年km（約3倍）、約6.9万人時/年台km（約6倍）） 【渋滞度曲線】和歌山県内サンセス区間の上位5割に含まれる 【その他の特徴】和歌山県内国道168号中第10位の渋滞損失時間 <small>データは県内平均・全国平均と比較すること</small>		
		事故対策	事業実施により当該区間の歩車分離を図る。 【死傷事故率】約4.3件/億台キロ（現況）（死傷事故率比（県内平均比）0.38（現況）） （和歌山県平均：約113.4件/億台キロ（約0.4倍） 全国平均：約118.4件/億台キロ（約0.4倍）） 【事故率曲線】和歌山県内区間の上位5割に含まれる 【その他の特徴】自動車の道線分離が図られる。（平面交差点の解消） <small>データは県内平均・全国平均と比較すること</small>		
		歩行空間	通過交通を現道から排除でき、日足地区での歩行者の安全性が高くなる。		
	社会全体への影響	住民生活	バス路線（熊野交通、奈良交通、明光バス）であり、利便性向上		
		地域経済	地方港湾 新宮港（特定地域振興港湾）への利便性向上		
		災害	二年に一回程度、道路が冠水する区間である。（平成16年度には台風11,23号で二度浸水）		
環境		通過交通を現道から排除でき、集落での生活環の改善が図られる。			
	地域社会	世界遺産登録地へのアクセス改善。			
事業実施環境	浸水時の救急医療や通過交通の排除による生活環境の改善が図られることからバイパス計画に対し地元からの要望がある。				

採択の理由

<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比が1.6と、便益が費用を上回っており事業採択の前提条件が確認できる。 二年に一回程度熊野川の増水による道路冠水区間を回避できる。（H16年度の台風11,23号二度浸水） 第一次緊急輸送道路上の老朽橋梁を回避できる。 新宮市、熊野川町（H17.10.1）合併を支援する道路。浸水による地域分断を回避（医療、観光、日常生活）市町村合併支援道路 以上より、本事業を採択した。
--

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。